

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
紙版画 ～ぼく、わたしの顔～	高	美術 Ⅱグループ (美術)	奥村武司

<ねらい>

- 絵を描くことに対する苦手意識を軽減する。
- 写真をなぞって描いたり、版画にすることで自分の顔を再認識する。
- 絵を描いたり、版画を作ることを楽しむ。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

- ①顔写真(A4サイズ、白黒)の輪郭や顔の部位をマジックでなぞり描きする。
- ②なぞり描きした紙とカーボン紙を重ねて、マジックで描いた上を鉛筆でなぞり描きする。
- ③紐を適度な長さに切って、線の上に木工用ボンドで貼り付ける。
- ④絵の具で色をつけて、その上にケント紙をかぶせ、絵を映しとる。

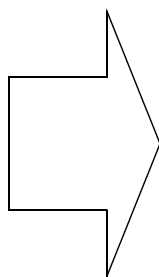
<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- なぞり書きなので、苦手意識なく取り組めた。
- 上手に描けた、と喜んでた。
- どうすればきれいに写し取れるかを考えて紙の抑え方を工夫できた。

<その他(材料、費用、購入先等)>



紐を貼った状態



版画後